

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科: 地理歴史 科目: 日本史探究 単位数: 4 単位

対象学年組: 第3学年 1組~ 5組

教科担当者:

使用教科書: (実教出版『精選 日本史探究』)

教科 地理歴史

の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地理的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 日本史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、調査資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在との繋がりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。歴史に見られる課題を整理し、解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他郷の文化を尊重する意を養うことへの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	近現代の地域と・日本と世界 【知識及び技能】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 授業時の発問に対する答えや「問い」に対する思考、グループワーク等で主体的な学びをすることができている。また、他者の考えも受け入れながら定期考査	・指導事項 学習プリントを活用し、幕末期の日本と欧米列強との関係性などの、歴史的事象を多面的・多角的にとらえる。 「基礎用語の確認」 「幕末の重要な藩と都市」 「ペリーの来航」 「開港をめぐる政治」 「変動を始める社会」 「攘夷から倒幕へ」 ・教材 教科書、プリント ・適宜端末を活用し、必要な情報を取捨選択し、理解を深める。	【知識・技能】 日本と列強のかかわりに関して、得た知識をもとに基本的な知識を得ることができる。 【思考・判断・表現】 他人の意見に共感したうえで、自分の考えを整理・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家と文化の形成に関して、問題点を見つけ、それを解決しようとしているか	○	○	○	18
	戊辰戦争から明治維新 【知識及び技能】 倒幕から戊辰戦争への流れ、それによる社会の変化に関する基礎的な知識を得ることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の日本と列強との関係、帝国主義という大きな時代の流れに着目して、その因果関係について施行することや表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 授業時の発問に対する答えや「問い」に対する思考、グループワーク等で主体的な学びをすることができている。また、他者の考えも受け入れながら、自身の意見を発信することができている。 定期考査	・指導事項 学習プリントを活用し、明治維新期の日本と欧米列強との関係性などの、歴史的事象を多面的・多角的にとらえる。 「戊辰戦争」 「新政府の始動」 「新政府の体制づくり」 「岩倉使節団」 「地租改正」 「軍艦の誕生と新政への反発」 「東洋の条約体制」 「邪馬台国、ヤマト政権ダイジェスト」 ・教材 教科書、プリント ・適宜端末を活用し、必要な情報を取捨選択し、理解を深める。	【知識・技能】 明治政府の成立に関して、学習した内容を計画を立てて実施し、それについて評価することができる。 【思考・判断・表現】 戊辰戦争や列強による帝国主義に着目し、その影響や、歴史的事象を適切に判断し、自分の言葉でまとめ表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発問に対して積極的な答え、他人の話をよく聞いたうえで、自分の意見を主張することができる。	○	○	○	32
	自由民権運動と国策・憲法の成立 【知識及び技能】 自由民権運動による国民の権利の広がりや国会の成立に関する政治的変容などを基に、江戸時代から明治時代への時代の転換を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治政府の改進黨による憲法制定、特に松方正徳による農民の没落やそれによる資本主義社会の形成について、経済面に着目して明治期の日本の特色について多面的・多角的に考察し、時代を超越する問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 授業時の発問に対する答えや「問い」に対する思考、グループワーク等で主体的な学びをしながら、自身の意見を発信することができている。	・指導事項 学習プリントを活用し、明治前半の特色を多面的・多角的にとらえる。 「建白の時代」 「民権運動の広がり」 「松方正徳」 「憲法制定」 「選挙と憲法」 「朝鮮問題」 「飛鳥時代、奈良時代ダイジェスト」 ・教材 教科書、プリント ・適宜端末を活用し、必要な情報を取捨選択し、理解を深める。	【知識・技能】 明治政府の成立やその構造、具体的な事象から論理的な考え方を、学習した内容を計画を立てて実施し、それについて評価することができる。 【思考・判断・表現】 江戸時代から明治期の社会の移り変わりに関して、欧米列強との関わりに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治期の社会の成立と展開、統一政権とその政策に関して、課題・問題点を見つけ、その問題点を解決しようとしているか	○	○	○	32
2 学 期	日清・日露戦争 大正デモクラシーと世界恐慌 【知識及び技能】 日清・日露戦争の国内状況、大正期の民主主義の発展から世界恐慌期の経済危機について、日本の世界の中での立ち位置や社会構造の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治後期～大正～昭和という大きな時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を超越する問いを表現している。また、ロシア革命という社会システムの大きな転換について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 授業時の発問に対する答えや「問い」に対する思考、グループワーク等で、コミュニケーション能力や、健全に批判する力、一緒に社会を作る力を育て、人間関係形成能力、社会形成能力を育成する。	・指導事項 学習プリントを活用し、日清日露戦争期や大正時代の社会の展開について、理解する。 「朝鮮と東アジア」 「日清戦争」 「帝国主義の時代」 「義経と国事」 「韓国併合」 「第1次世界大戦とロシア革命」 「大正時代の政治」 「鎌倉時代ダイジェスト」 ・教材 教科書、プリント ・適宜端末を活用し、必要な情報を取捨選択し、理解を深める。	【知識・技能】 19世紀末～20世紀前半の社会の変化やその構造、具体的な事象から論理的な考え方を、学習した内容を計画を立てて実施し、それについて評価することができる。 【思考・判断・表現】 日本の世界の中での立ち位置や社会主義の成立という歴史の大きな転換点に関して、欧米列強との関わりに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習する時代と世界の中での日本の動きに関して、課題・問題点を見つけ、その問題点を解決しようとしているか	○	○	○	36
	満洲事変から太平洋戦争の勃発 【知識及び技能】 日本の軍事行動の過程やその原因を継続しつつ、なぜ戦争へ向かってしまったのかという観点を中心に理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌から始まる社会不安から日中戦争、太平洋戦争へ向かう過程を「経済」という観点に着目して多面的・多角的に考察し、時代を超越する判断力を形成している。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史を振り返り、自らの歴史に関する考えや主張とともに、他者の発表を聞き考えを受け入れて学ぶことができている。	・指導事項 学習プリントを活用し、満洲事変から太平洋戦争までの過程を多面的・多角的にとらえる。 「満洲事変」 「二・二六事件」 「盧溝橋事件と日中戦争」 「新体制運動」 「南進政策」 「アジア太平洋戦争」 「アジア太平洋戦争」 ・教材 教科書 ・適宜端末を活用し、必要な情報を取捨選択し、理解を深める。	【知識・技能】 世界恐慌から昭和恐慌という大きな経済不安を通して世界大戦に至ってしまった日本社会に関し、その課題をとらえることができる。 【思考・判断・表現】 「経済」という観点に着目して軍事行動や戦争につながってしまう歴史を、現代社会の課題と相関させて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の考えを理解しつつ、自らの考えを伝えることができる。また、様々な提言を期限を守って提出することができた。	○	○	○	20
合計						140	